

会計専門コース（2年制）

1. 募集人員・入試形態

課程	専攻	コース	募集人員	入試形態
専門職学位課程	会計	会計専門コース	90名	A：一般入試
				B：英語力を重視した入試
				C：IT・数理能力を重視した入試
				} 併願可能

2. 日程

	A：一般入試	B：英語力を重視した入試	C：IT・数理能力を重視した入試
出願期間	2011年11月17日（木） ～12月1日（木）	2011年11月4日（金） ～11月17日（木）	2011年11月4日（金） ～11月17日（木）
第一次選考	<筆記試験> 2011年12月18日（日）	<書類選考>	<書類選考>
第一次選考合格者発表日	2011年12月26日（月）	2011年12月2日（金）	2011年12月2日（金）
第二次選考	<口述試験> 下記日程のうち、当研究科が 指定するいずれか1日 ・2012年1月8日（日） ・2012年1月9日（月）	<筆記試験・口述試験> 2011年12月10日（土）	<筆記試験・口述試験> 2011年12月10日（土）
最終合格者発表	2012年1月20日（金）	2011年12月26日（月）	2011年12月26日（月）
入学手続期間	2012年1月30日（月）～2月9日（木）		

3. 出願資格（入試形態によって異なりますのでご注意ください）

A：一般入試 出願資格

<p>(1) 次の①から⑥の条件のいずれかを満たしていること</p> <p>①大学を卒業した者、および2012年3月までに卒業見込みの者（注1）</p> <p>②大学評価・学位授与機構により、学士の学位を授与された者、および2012年3月までに授与される見込みのある者</p> <p>③外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者、および2012年3月までに修了見込みの者</p> <p>④文部科学大臣の指定した者（注2）</p> <p>⑤大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了、または2012年3月までに修了見込みの者で、当研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（注3）</p> <p>⑥当研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2012年3月までに22歳に達する者（注4）</p>
--

B：英語力を重視した入試 出願資格

次の(1)、(2)および(3)の条件をすべて満たしていること

(1) 次の①から⑥の条件のいずれかを満たしていること

- ①大学を卒業した者、および2012年3月までに卒業見込みの者(注1)
- ②大学評価・学位授与機構により、学士の学位を授与された者、および2012年3月までに授与される見込みのある者
- ③外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者、および2012年3月までに修了見込みの者
- ④文部科学大臣の指定した者(注2)
- ⑤大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了、または2012年3月までに修了見込みの者で、当研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者(注3)
- ⑥当研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2012年3月までに22歳に達する者(注4)

(2) 次の①～④の条件のいずれかを満たしていること

- ①日商簿記検定試験2級以上に合格している者
- ②全国経理教育協会簿記能力検定試験1級以上に合格している者
- ③当研究科設置科目である基礎簿記および基礎原価計算の単位を取得した者
- ④大学等における履修状況や米国統一公認会計士試験(USCPA)合格等の資格取得状況等によって当研究科が上記①から③のいずれかと同等以上の能力を持つと判断した者(注5)

(3) 次の①～⑤の条件のいずれかを満たしていること

- ①TOEFL[®]について、iBT79(PBT550)以上のスコアを有する者(TOEFL[®]テスト ITP は対象外)(注6)
- ②TOEIC[®]について、730以上のスコアを有する者(団体特別受験制度(IPテスト)は対象外)(注6)
- ③IELTS[™] 6.0以上のスコアを有する者(注6)
- ④英語を母国語とする者で、十分な英語の能力があると当研究科が認めた者(注5)
- ⑤オーストラリア、カナダ、アイルランド、ニュージーランド、イギリスまたはアメリカ合衆国の大学を卒業もしくは大学院を修了している者で、十分な英語の能力があると当研究科が認めた者(注5)

C：IT・数理能力を重視した入試 出願資格

次の(1)、(2)および(3)の条件をすべて満たしていること

(1) 次の①から⑥の条件のいずれかを満たしていること

- ①大学を卒業した者、および2012年3月までに卒業見込みの者(注1)
- ②大学評価・学位授与機構により、学士の学位を授与された者、および2012年3月までに授与される見込みのある者
- ③外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者、および2012年3月までに修了見込みの者
- ④文部科学大臣の指定した者(注2)
- ⑤大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了、または2012年3月までに修了見込みの者で、当研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者(注3)
- ⑥当研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2012年3月までに22歳に達する者(注4)

< P 9 に続く >

(2) 次の①～④の条件のいずれかを満たしていること

- ①日商簿記検定試験 2級以上に合格している者
- ②全国経理教育協会簿記能力検定試験 1級以上に合格している者
- ③当研究科設置科目である基礎簿記および基礎原価計算の単位を取得した者
- ④大学等における履修状況や米国統一公認会計士試験 (USCPA) 合格等の資格取得状況等によって当研究科が上記①から③のいずれかと同等以上の能力を持つと判断した者 (注5)

(3) 次の①と②の条件のいずれかを満たしていること

①経済産業省情報処理技術者試験のうち、次のいずれかに合格している者 (注7)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ・システム監査技術者試験 | ・ITストラテジスト試験 |
| ・システムアナリスト試験 | ・システムアーキテクト試験 |
| ・プロジェクトマネージャ試験 | ・ITサービスマネージャ試験 |
| ・アプリケーションエンジニア試験 | ・ネットワークスペシャリスト試験 |
| ・テクニカルエンジニア試験 | ・データベーススペシャリスト試験 |
| ・情報セキュリティアドミニストレータ試験 | ・エンベデッドシステムスペシャリスト試験 |
| ・上級システムアドミニストレータ試験 | ・情報セキュリティスペシャリスト試験 |

②以下の i と ii の条件の両方を満たしている者 (注8)

i 経済産業省情報処理技術者試験のうち、次のいずれかに合格している者 (注7)

- | | |
|--------------------|------------|
| ・ソフトウェア開発技術者試験 | ・応用情報技術者試験 |
| ・初級システムアドミニストレータ試験 | ・ITパスポート試験 |
| ・基本情報技術者試験 | |

- ii 学部または大学院において情報処理、数学、統計学、制御理論、数理経済学などのIT・数理に関する科目を、20単位以上履修しており、かつこれらの科目のうち、20単位以上が「A」以上(「優」以上または「80点」以上でも可)の成績である者

(注1) 海外の大学を卒業した方は、(1)③が適用されます。

(注2) 詳細な指定内容は文部科学省 Web ページで確認してください。

(注3) 外国において、その国の教育制度として15年で修了する教育課程を卒業し学士の資格を有している場合、当研究科による個別審査にて成績優秀と認められた方に限り出願資格が認められます。中国の3年制大学(専科)卒業生は該当しません。また、飛び級入学試験はありません。

(注4) 例えば、学士の学位はないが修士の学位を得た場合が該当します。該当する者は、当研究科が個別審査を行いますので、出願期間前にお問い合わせください。

(注5) 該当する者は、当研究科が個別審査を行いますので、出願期間前にお問い合わせください。

(注6) 2009年11月18日以降に取得したスコアに限る。

(注7) 旧名称の資格については、認めません。

(注8) 該当する者は「ii」の科目について当研究科が個別審査を行いますので、出願期間前にお問い合わせください。

4. 出願手続

P 4 「出願にあたっての確認事項」を確認のうえ、出願手続を行ってください。

1) 出願期間

A：一般入試	2011年11月17日（木）～12月1日（木）締切日の消印有効
B：英語力を重視した入試	2011年11月4日（金）～11月17日（木）締切日の消印有効
C：IT・数理能力を重視した入試	2011年11月4日（金）～11月17日（木）締切日の消印有効

2) 出願方法

郵送による出願受付を行います。検定料振込後に出願書類一式を所定の封筒に入れ、「簡易書留」扱いで、送付してください（各出願締切日の消印有効）。併願する場合は、同じ大きさの封筒をご自身でご用意のうえ、送付してください。

3) 入学検定料

35,000円

所定の振込依頼書（入学志願票等のE票）により、最寄の銀行窓口（ゆうちょ銀行を除く）から振り込んでください。ATM（現金自動預払機）、インターネットバンク等からの振込および海外からの送金は認めません。なお、銀行の窓口取扱は、通常、平日15時まで、土曜・日曜・祝日は休業なのでご注意ください。

<振込期間>

A：一般入試	2011年11月14日（月）～12月1日（木）
B：英語力を重視した入試	2011年10月31日（月）～11月17日（木）
C：IT・数理能力を重視した入試	2011年10月31日（月）～11月17日（木）

◆当研究科入学後に国費外国人留学生となる可能性のある方は、検定料が免除になる場合があります。該当する方は出願前に当研究科入試係までご相談ください。

◆地震等の被災地（災害救助法適用地域）の志願者に対して、入学検定料免除、入学金・学費等減免措置を講ずることがあります。詳細は、当研究科入試係にお問い合わせください。

4) 出願書類

- ◆出願書類は、日本語で作成してください。
- ◆出願書類の作成にあたっては、黒のペンまたはボールペンを使用してください。
- ◆誤って記入した場合は、誤記入部分を二重線で消し、上から訂正印を押したうえで、再度余白部分に記入してください。修正液等は使用しないでください。
- ◆提出書類間で重複して記載する事項（氏名・住所・電話番号等）は、それぞれ相違のないようにしてください。なお、出願後に住所を変更した場合は、直ちに当研究科入試係に届け出てください。

出願書類一覧（「○」が記されているものを提出してください）

	所定 用紙	出願書類	A：一般入試	B：英語力を 重視した入試	C：IT・数理能力を 重視した入試
①	◎	入学志願票等（A・B・C票）	○ （白色）	○ （桃色）	○ （藤色）
②		卒業（見込）証明書	○	○	○
③		成績証明書	○	○	○
④	◎	宛名ラベル	○	○	○
⑤		日商簿記検定試験2級以上もしくは全国経理教育協会簿記能力検定試験1級以上の合格証書（コピー可）または当研究科における基礎簿記および基礎原価計算の成績証明書	—	○	○
⑥		<B：英語力重視入試> 出願資格（3）の要件を満たすことを証明する書類	—	○ （P 8、12 参照）	—
⑦		<C：IT・数理能力重視入試> 出願資格（3）の要件を満たすことを証明する書類	—	—	○ （P 9、12 参照）
⑧	◎	志望理由書	—	○ （様式A）	○ （様式B）

出願書類作成方法（①～④全入試共通）

①入学志願票等（A・B・C票）

- ◆入学志願票等はA票 [入学志願票]、B票 [写真票]、C票 [受験票]、D票 [入学検定料領収証]、E票 [入学検定料振込依頼書] の1枚綴りになっているので、必要事項を記入のうえ、切り離さずに銀行窓口（ゆうちょ銀行を除く）に持参してください。P 13の記入例を参考にしてください。
- ◆入学検定料納入後、その場でA・C・D票の取扱銀行収納印を確認してください。
- ◆B票 [写真票] には、タテ4cm×ヨコ3cm（枠なし）カラー証明写真、上半身・正面・無帽・無背景で、出願時前3ヶ月以内に撮影したものを貼付してください。また、眼鏡の有無・髪型等試験場において間違われるような写真は不可とします。写真裏面には氏名を記入し、全面のりづけしてください。
 - ・入学手続時等に同一の写真が3枚必要となりますので、データ・ネガ等を保存しておいてください。
 - ・この写真は、入学後、学生証の写真として利用するほか、学内諸手続きにおける本人確認および学内の各種 Web サービス等に本人確認情報として登録しますので、あらかじめご了承ください。
- ◆C票 [受験票] の発送先は日本国内に限りますので、国内にて受け取ることのできる住所（入学志願票と同じもの）を記入のうえ、320円分の郵便切手を貼付してください。
- ◆出願時、A・B・C票は切り離さずに提出してください。D票のみ切り離し、各自で保管してください。

②卒業（見込）証明書

③成績証明書

- ◆学部の証明書を提出してください。大学院等の学歴がある場合は、大学院等の証明書も提出してください。
- ◆編入学を経て卒業した者は、卒業時と編入学前の両方の成績証明書を提出してください。
- ◆外国の大学（大学院）を卒業（修了）した場合は、英語による証明書を提出してください。日本語または英語による証明書が発行されない場合は、自身で翻訳文を用意し、大使館や自国公証処などが発行した、その翻訳文が正しいことを証明する「公正証書」を添付してください。
- ◆中国本土（香港・台湾を除く）の大学を卒業した場合は、卒業（修了）証書のコピーならびに学位証明書原本を提出してください。学位証明書の原本が提出できない場合は、原本のコピーおよび証明書の内容が本物であることを証明する「公正証書」を提出してください。
- ◆早稲田大学に在籍（在学中を含む）したことがある場合は、どのような形態の在籍であっても、必ず在籍を証明する証明書を提出してください。（例：科目等履修生、退学者）
- ◆改姓により志願票と証明書の氏名が異なっている場合は、改姓名の事実を確認できる公的機関が発行した証明書（「戸籍抄本」等）を添付してください。

④宛名ラベル

- ◆選考結果通知・入学手続書類等を送付する際に使用します。2012年3月まで有効な志願者の住所・氏名を記入してください。
- ◆住所を変更した場合は、直ちに当研究科入試係に届け出るとともに、郵便局に転居届を提出してください。

⑥B：英語力を重視した入試 出願資格（3）の要件を満たすことを証明する書類

- ◆TOEFL[®]、TOEIC[®]、IELTS[™]のスコアを証明する書類（原本）は、2009年11月18日以降に取得したスコアに限ります。

⑦C：IT・数理能力を重視した入試 出願資格（3）の要件を満たすことを証明する書類

- ◆独立行政法人情報処理推進機構の発行する合格証明書（原本）を提出してください。
- ◆旧名称の資格については認めません。

5) 受験票の発送

- ◆出願が受理された志願者に対し、受験票を郵送します。出願期間終了後1週間を過ぎても受験票が届かない場合は、当研究科入試係までお問い合わせください。
- ◆受験票は、学生証の交付まで必要になりますので、試験終了後も大切に保管してください。

5. 選考方法

P 4「受験にあたっての確認事項」を確認のうえ、試験に臨んでください。

A：一般入試

第一次選考 (筆記試験)	財務会計（簿記を含む）および管理会計（原価計算を含む）について大学で履修する程度の内容を問う。
	【試験日】 2011年12月18日（日） 【集合時刻】 9：30（開場 9：00） 【実施時間】 1時限（財務会計）10：00～11：30 2時限（管理会計）13：00～14：30 【試験場】 早稲田キャンパス（当日11号館付近に掲示します）
第二次選考 (口述試験)	会計専門家になるための基本的な論理的思考能力や会計専門家として必要な表現能力・コミュニケーション能力があるかどうかを問う。
	【試験日】 2012年1月8日（日）または1月9日（月）のうち当研究科が指定するいずれか1日 【集合時刻】 当研究科が指定する時刻 【試験場】 早稲田キャンパス（第一次選考合格者にお知らせします）

B：英語力を重視した入試

第一次選考 (書類選考)	提出書類を総合的に評価し、第一次選考合格者を決定する。
第二次選考 (筆記試験・口述試験)	【筆記試験】 財務会計（簿記を含む）および管理会計（原価計算を含む）の基本的な知識を問う。問題の一部を英語で出題するとともに、一部の解答を英語で求める。 【口述試験】 財務会計（簿記を含む）および管理会計（原価計算を含む）の基本的な知識ならびに日本語および英語による論理的思考能力・コミュニケーション能力を問う。
	【試験日】 2011年12月10日（土） 【集合時刻】 当研究科が指定する時刻 【試験場】 早稲田キャンパス（第一次選考合格者にお知らせします）

C : I T ・ 数理能力を重視した入試

第一次選考 (書類選考)	提出書類を総合的に評価し、第一次選考合格者を決定する。
第二次選考 (筆記試験・口述試験)	【筆記試験】財務会計(簿記を含む)、管理会計(原価計算を含む)および I T ・数理の基本的な知識を問う。
	【口述試験】財務会計(簿記を含む)、管理会計(原価計算を含む)の基本的な知識および I T ・数理による問題解決能力・コミュニケーション能力を問う。
	【試験日】2011年12月10日(土) 【集合時刻】当研究科が指定する時刻 【試験場】早稲田キャンパス(第一次選考合格者にお知らせします)

6. 合格者発表

- ◆各合格者発表日(11:00)に、早稲田キャンパス11号館3階当研究科事務所前掲示板に掲示します。
- ◆補助的な手段として当研究科 Web サイトに合格者受験番号表を掲載します(11:00発表予定)。
URL <http://www.waseda.jp/accounting/>
- ◆第一次選考合格者には第二次選考の案内を、最終合格者には合格通知等の書類を郵送します。合格者発表日から5日を経過しても届かない場合は、当研究科入試係にご連絡ください。
- ◆電話による合否の問い合わせは受け付けません。